

FD推進委員会が推奨する授業公開科目一覧

科目名	授業形態	開講クラス	担当者名	曜時	参観が望ましい日程	受講者	教室	科目目的	到達目標	授業方法	特記事項(あれば)
1 国語科指導法Ⅱ	講義	大日2AB	村山 太郎	土1	特になし	34名	L1-703	本科目は、中高教科国語を教授するに足る基礎的知識及び技能等を修得し、教職実践力と関連づけて理解することを一目的とする。とりわけ、本科目は、中高教科国語を教授するに足る教材分析の理論と方法について理解するとともに、これを以て国語科授業空間として構築する力の習得を目的とする。上記目的を踏まえ国語科指導法の観点から全人教育推進に要する資質能力の向上に資する。	学生は、下記目標に到達することにより教職実践力を構成する国語科教育における想像力を高める。中等教育国語科教育を、教材分析を通して考え、授業を構想するに相応しい能力を身に付ける。教職課程履修学生は、学習内容を当該の中高教科内容及び教材に関連づけて主体的に探求する。	講義・演習・対話・グループ学習	
2 児童サービス論	講義	大司書3 短司書2	設楽 馨	土3	特になし	90名	C-603	児童(乳幼児からヤングアダルトまで)を対象に、発達と学習における読書の役割、年齢層別サービス、絵本・物語等の資料、読み聞かせ、学校との協力等について解説し、必要に応じて演習を行う。	児童を対象とした図書館サービスについて理解するとともに、子どもたちへのよりよい図書館サービスとは何かを考察した上で、具体的な方法と技術を習得する。	講義および課題発見・解決型授業	
3 ドイツ語Ⅲ	演習	大英2AS	野口芳子	火2 木3	特になし	29名	L1-603 C-702	I・IIで修得した語学力を、優しい読み物や旅行記などのDVDやビデオ教材を使って、4技能をバランスよく鍛える。読み書きの能力に加えて、聞き話す力の養成に重点を当て、コミュニケーション能力の育成を目標とする。IVにつなげるため、読解力を高めることが要求される(単語面での充実もはかる)。検定3級程度の実力をつけることが目標である。	視聴覚教材によって、日常会話程度のドイツ語力の養成を目指す。語彙力を増やして総合的なドイツ語力を伸ばし、ドイツ語検定3級合格を目指す。	毎回ビデオ教材でドイツ語を聞いて、担当者がドイツ語で質問にドイツ語で答えるという授業形式をとる。理解できた人は挙手して答えるという双方向の授業展開をする。読み、書き、聞く、話すという4技能のうち、聞くと話すに重点を置いた授業を展開し、コミュニケーション能力の育成を目指す。(双方向授業)	前半はドイツ語のみで授業、後半はドイツ語検定試験の指導です。できれば前半の見学をお勧めします。
4 保育・教育相談支援	演習	大教3C	磯部 美良	木2	12月3日 12月17日 1月7日	64名	SE-405	小学校・幼稚園・保育所において、乳幼児や児童の発達に関する心理学知識をもとに、子どもの特性を理解し、子ども自身および保護者の支援についてその内容と方法を具体的に理解する。	(1)乳幼児期から児童期における心理的発達の特徴を理解している。 (2)乳幼児期から児童期における心理的な問題を理解し、実践に活かすことができる。 (3)乳幼児期から児童期における保護者の悩みを理解し、実践に活かすことができる。	ロールプレイやグループディスカッションを中心に、相談支援について学ぶ。	
5 レクリエーションの企画と運営	講義	大心2CD	茅野 宏明	土2	11月21日 12月12日	12名	特記事項に記載	レクリエーション行事の意味と必要性、及びその企画と運営の理論や方法を理解し、実践的な授業展開を通じて、社会人基礎力の基盤を築く。	1. レクリエーション行事を企画して運営する能力、企画運営を評価する能力、フィードバックする能力を習得する。 2. 企画運営のグループ活動を通じて、社会人基礎力(アクション、シンキング、チームワーク)を向上する。	学生が主体的に企画運営する「課題発見・解決型授業」	作業所の利用者を招いて、学生が企画し運営するレクリエーション行事(利用者と学生との交流会)です。実際に学生たちが関わる姿と、終了後の振り返りの様子を見ていただければと思います。 11月21日はG1-42(第一体育館 4階)、12月12日はL2-42.43(文学2号館 4階)での開講となります。 なお、写真や動画などの映像記録はご遠慮ください。
6 家族心理学	講義	大心4ABCD	本多 修	木1	特になし	27名	L2-31	人類にとって、自分にとって家族はどのような意味があるのかを考えられるようになる。さらに、家族成員のあり方を心理学的に考えられることが目的である。	自分の考えと他者の意見を双方向に交流することを通じて、大学の最終学年で、家族と家族心理についての、自分の考えをしっかりと持つことができることが目標である。	毎回の授業は、教材の提示と短い講義を行った後に、グループディスカッションのテーマを提示し、それについてグループで話し合い、その結果を全体に報告してもらう。その報告から教師が、コメントしたり、新たなテーマを提示して、さらにディスカッションしてもらったりする。最後に、授業で考えたこと疑問に思ったことをB5サイズに書いて提出してもらう。	
7 コーチング論	講義	新健4ABCD	坂井 和明	木3	11月26日は 休講	68名	MM-723	競技者を育成する高度な知識と効果的、計画的な指導法を学習する。また、継続的にスポーツを行う上で、勝利を目指すこと、今以上の技能の水準や記録に挑戦させることは当然ではあるが、大会で勝つことのみを重視し過重な練習を強いることがないようにすることと、競技者としての健全な心と身体を培い、人間性を育むためのバランスのとれたマネジメントと指導ができるようにする。	適切な指導体系、コミュニケーション能力の獲得などにより、競技者の意欲や自主的、自発的な活動を促すとともに、心理面についての科学的知見、言葉の効果と影響を十分に理解し、現場におけるコーチとしてスポーツ場面での問題解決能力と指導法を身につけることを目標とする。	双方向授業、課題発見・解決型授業	
8 環境共生概論	講義	大環1ABC	三宅 正弘	水3	一日に定めた が現在検討中	144名	L2-11	近年の環境問題への取組みは、流行のような状況となり、エコブームとも呼ばれる。しかし、今はエコとされている活動も、全てが環境問題への解決につながるかは、必ずしもいえないのではないだろうか。環境問題とは、多角的な視点で考察を重ねる必要があるだろう。	将来、私たちが暮らす環境において共生ということがなぜ必要なのかを理解する。	私たちの身近な問題を取り上げ、多様な価値観を知る機会をつくることで、これからの地球・環境・社会との接し方を学生と一緒に考えていく。	

科目名	授業形態	開講クラス	担当者名	曜日	参観が望ましい日程	受講者	教室	科目目的	到達目標	授業方法	特記事項(あれば)
9 臨床栄養学Ⅳ	講義	大食3D	鞍田 三貴	火3	11月の火曜	41名	S-35	傷病者の病態・病期や栄養状態の特質に基づき、適切な栄養管理を実施するために栄養計画の立案、実施、評価に関する総合的なマネジメントの考えかたを理解し、栄養評価・判定、栄養補給、栄養教育、食品と医薬品の相互作用、臨床栄養管理について習得する。	1.各疾患(消化器系疾患、手術・周術期患者、腎・尿路疾患)の病態や特徴を理解し、傷病者への適切な栄養管理計画が立案できる。 2.薬(医薬品・健康食品・サプリメント)と栄養・食物の相互作用を理解する。 3.ターミナルケアの目的、家族を加えたチームアプローチの対応によるQOL向上の必要性を理解する。	1.基本的には、教科書に基づき必要事項を板書しながら解説を進める。 2.病態や栄養管理などの解説は、ビデオ(動画)、パワーポイント、書画などに導入する。 3.疾患別栄養管理は、症例を導入し演習を行う。 4.授業中は、積極的に学生にも質問し、より多くの意見、考えを収集し、講義内容に繋ぎ合わせる。 5.授業終了前には、質問時間を設け、理解できなかった点、疑問点などを学生から聞き、授業内容の補足を行う。 6.各項終了後は、確認プリントを用い、授業内容の理解を深める。	
10 画像処理入門	講義	大情1CD	太田健一	火2	11月17日	68名	MM-808	情報機器を活用する上で必要な画像処理に関する基礎知識、考え方や手段を、具体的な事例で応用し確認しながら理解を深めることを目的とする。	Javaプログラミングによって画像処理手法を身につけること。コンピュータ等IT機器を活用して、適切な形・方法で、情報を創造・編集・加工・分析・伝達する基本的な知識・技術を習得する。	講義を受けることと、課題に積極的に取り組む。	
11 音楽療法総論	講義	大応4年	一ノ瀬智子他	土1	特になし	15名	M-11	音楽療法と関連分野の総合的な知識の修得、および理解の深化を目標とする。	以下の領域における知識を修得する。 ・音楽療法 ・音楽 ・音楽心理学 ・統計 ・研究法 ・臨床心理学 ・発達心理学 ・基礎医学 ・小論文の書き方	基本的に講義形式で進める。	10/31、11/14、11/21は、MM407に教室変更していますので、ご注意ください。
12 有機化学Ⅱ	講義	新薬1B	西村 奏咲	火2	12月8日	16名	P5-231	医薬品(ほとんどは有機化合物である)の化学的性質を特徴づけている官能基についての基礎知識を習得する。官能基の構築法や変換法、また反応性についても理解する。反応は、電子の流れを矢印を使った反応機構によって理解できるようにし、最小の暗記で最大の理解ができるようにする。予習復習を徹底して行い、知識を習得する習慣を身につける。	官能基に関するほとんどすべての知識習得が目標であるが、理解度の確認には演習問題を自ら解答し、正解できるようにならねばならない。予習と復習を習慣づけ、中間テストや定期試験前だけではなく、日頃から勉強に取り組む習慣を身につけることも目標となる。	教科書を用いた講義型・演習型授業を主体とするが、重要なポイントについては質疑を行う双方向授業を取り入れる。8回目には小括として試験を実施する。この科目は、学習者の習熟度に合わせてRegularおよびBasicクラスに分けて授業を行うので、学期初めに発表する指示に従って受講すること。Basicクラスについては、上記の授業計画と平行して、授業内容の理解を深めるための解説と演習を行う追加の授業を行う。	
13 小児看護学概論	講義	大護1	藤原 千恵子	金3	特になし	86名	N-101	この科目は、対象となる小児の成長発達と家族の役割を理解したうえで、小児看護に関する変遷を踏まえたうえで、小児看護の機能と役割、社会の子どもに対する対応について学ぶことを目的としている	1. 小児看護に関する発展の変遷および機能や役割についての考え方を理解できる。 2. 子どもの成長発達について、主な発達理論や発達過程の特徴および発達段階に応じた対応を理解できる。 3. 子どもの発達に伴う家族の変化や役割を理解できる。 4. 子どもに関わる法律や保健政策の現状を知り、社会の中で育つ子どもに必要な支援を理解できる。 5. 学んだ子どもの発達過程の知識を活用して、自分の発達過程を分析できる。	講義には、子どもの映像を活用することやレポート課題(自分あるいは自分のきょうだいの成長発達の分析)を同時並行しておこなうことで、子どもの成長発達の実際を実感して理解できるような工夫をする。	
14 卒業生が語る仕事と人生	講義	共通	内田 正博	月4	特になし	96名	S-45	学生にとって卒業後に始まる職業世界や社会人生活は未体験ゾーン。したがって不安と期待が錯綜するのは当然のこと。そんな学生たちにとって、社会人として活躍する卒業生に接することは大きな意味をもつ。夢と情熱と誇りをもって真摯に仕事に取り組む先輩の姿は、学生たちに尊敬や憧れの念を喚起し、自らの居場所に対する誇りを抱かせる。それだけにはとどまらない。 先輩達からのメッセージに刺激や励ましを受けた学生たちは、自らの今の学生生活を見直し、学習意欲の向上や生活習慣の刷新、さらに自分に不足する能力開発へと、自分自身の成長と自立を強く意識し、そのための行動を起こし始める。その結果、学生たちは自分の可能性と自己効力感への気づきを得る。 武庫川女子大学は教育推進宣言で「自立した学生を社会に送り出す」と謳う。本科目はその一助となることをめざす。	ロールモデルの発見。成長意欲と失敗の積極的受容とチャレンジ精神。主体性と行動力。努力の価値認識。就業意識の向上。自分の居場所への誇り。武庫川女子大学の教育理念の理解。将来の夢と目標の醸成。学生生活の見直し。学習意欲の増進。社会的関心。読書習慣(本と新聞)。自己効力感。	第1回は、導入としてコーディネーターの専任教員がキャリアの概念を総論として紹介するとともに授業の趣旨や概要を説明する。この初回オリエンテーション時に履修希望者はA4サイズ1枚の受講エントリーシートを書く。 第2回から第14回までの13回は、キャリアの各論として、卒業生講師による仕事と人生をめぐる話を聴く。最初にコーディネーターによる卒業生講師紹介。講師の話は約50～60分とし、その後の20分はコーディネーターの司会による質疑応答、最後の10分は受講生がコミュニケーションシートを書く時間とする。ただし、コミュニケーションシートはその前から書き始めてもよい。 最終日の第15回は、コーディネーターの専任教員が担当し、筆記試験を実施する。 なお、2回目以降、受講生が毎回書くコミュニケーションシート(OS)は、当日担当の先輩のメッセージに対する後輩からのレスポンスとして、A4サイズ1枚をしっかりと埋めるように書く自由記述式アンケートのかたちをとる。このシートには、授業の感想、意見、自分の考えとともに、卒業生講師の話に対して必ず質問を2つ以上記すこと。 最終日の筆記試験は、当日筆記・提出のふりかえりシート(FS)。授業全体を振り返り、本科目で得た刺激や気づきとともに主として自分の変化と成長に関する報告を作成する。	